殺処分する施設から生かす施設へ～

広島市動物管理センターの

移転新設と業務内容の見直しを要望します

現在の広島市動物管理センターは市街地という好立地にあるものの非常に狭く、建物設備ともに大変古いものです。

狭いため収容できる動物の頭数が少なく、収容期限の延長が困難で、家に戻れたり新しい飼い主さんと出会える可能性のある動物たちがやむなく殺処分されています。

収容中の動物たちにとって古い施設内は苛酷な環境です。
暑さにあえぎ寒さに震え、病気や怪我があっても受診さえ困難な中でただ飼い主さんの迎えを待っています。

また、殺処分の方法は動物が大変な苦しみを伴なうものです。
これは処分される動物のみならず、処分する職員の方々にとっても大きな苦痛です。

このような状況を改善するため次のように要望します。

移転と新施設について

① 新施設は十分なスペースを確保すること
② 市民が積極的に活用できるように足を運びやすい場所であること
③ やむえない殺処分の方法は動物にとって苦痛の少ない「吸入麻酔システム」を導入し、安楽死に近づける
④ 譲渡対象の犬を個体毎に飼養できるスペースの確保
　・パピールームの設置　・犬と猫はそれぞれのスペースを確保
⑤ 治療室、隔離室、検疫室の設置
⑥ グルーミング設備の設置
⑦ 収容動物が運動したり、市民が収容動物とふれあえる屋外スペースの設置
⑧ 動物のしつけ教室や啓蒙啓発活動が行える多目的ホールや研修室の設置
⑨ 市民が利用できるドッグランの併設

業務内容の見直しについて

① 臨床経験のある獣医師の常駐
② 殺処分減少のため可能な限り情報を開示
③ 積極的にボランティアが参加できる態勢を整える
　・収容動物が出来るだけ譲渡対象となるようしつけを行う
　・収容動物の衛生面向上のためシャンプーやトリミングを行う
　・市民に対して有意義な啓蒙啓発活動を行う
④ 市民の動物愛護の意識を高めるため開放された施設にする
　・一般市民の見学や児童生徒の社会見学の受け入れ

以上の内容に賛同していただける方は別紙署名欄に署名をお願いします。

発起人　広島市動物管理センター登録ボランティア 有志